

八風中学校だより

第12号 平成29年9月1日

□詩一編

夏の終り 伊東 静雄

やらい ^{たいふう}
夜来の颱風にひとりはぐれた白い雲が

気のおおくなるほど澄みに澄んだ

かぐわしい大気の空をながれてゆく

太陽の燃えかがやく野の景観に

それがおおきく落す静かな翳は ^{かげ}

……さよなら……さようなら……

……さよなら……さようなら……

いちいちそう ^{うなず} ^{まなざし}
頷く眼差のように

一筋ひかる街道をよこぎり

あざやかな暗緑の水田の ^{みずた} ^{おもて}
面を移り

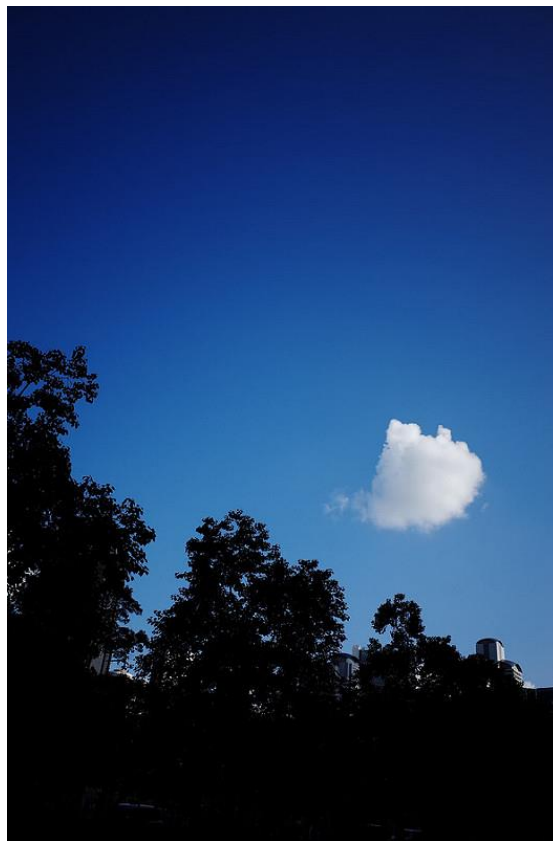
ちいさく動く ^{こうじん}
行人をおい越して

しずかにしずかに村落の屋根屋根や

樹上にかげり

……さよなら……さようなら……

……さよなら……さようなら……



ずっとこの会^{えしやく} 積をつづけながら

やがて優しくわが視野から遠ざかる

□2学期始まる！

42日間に及ぶ夏休みが終わりました。校舎のあちらこちらで再会を喜び合う声や笑い声が響いています。クラブの違う人同士や部活動を引退した3年生たちにとっては久しぶりに会う友の姿に思わず笑みのこぼれる人も多いことでしょう。その一方で、過ぎ行く夏を^{なごりお}名残惜しく感じるのもこの時期ですね。

ところで、「三日会^{かつもく}わざれば刮目（成長に驚いて目をこすること）して見よ」との言葉もありますが、夏休み前と比べてずいぶん成長した人も多いことでしょう。実際、この夏休み期間中、八風中学校の皆さんは部活動に勉強に、そして、それ以外にもずいぶんと励み、大きな大きな成果を残しました。三四地区予選から県大会、東海大会、そして全国大会へと続いていった中体連の大会はもちろんのこと。町の代表として広島訪問をしたメンバー。みずほ寮の慰問に参加した福祉委員会の皆さん。そして、8月27日（日）に行われた地区防災訓練に中学生スタッフとして参加してくれた17名もの人たち、と学校生活を離れた場所で色々な体験を重ねて、今ここに438名の皆さんが集い合っているのです。確実に1学期よりも成長した皆さんが創り出す八風中学校はどんな素敵な学校になるのか！とても楽しみです。そして、それは私だけではなく、地域の人たちも同じ思いを持っています。今回、初の試みとして地区の防災訓練に中学生の皆さんたちにも参加してもらう機会を作^つっていただきました。今までの見守られ、助けられていた立場から見守り、助ける立場へと変わっていくのが、中学生の時代だと私は思っています。また、地域の方たちもそれをとても期待しています。今回、竹成地区が皆さんに防災訓練の場を提供してくれたのも、そんな大きな期待があつてのことです。そして、今回17名もの八風中学生がその期待に応えて、防災訓練に参加してくれました！当日は、消火訓練、防災倉庫点検、避難所開設に伴う受付訓練、そして救急法や炊き出し訓練と盛りだくさんの活動を用意していただきました。地域の方たちに混じってきびきびと訓練に参加している皆さんを見て、地域防災の要に十分に皆さんならなれるな、との確信を改めて強く持ちました。八風中学校の皆さん、皆さんの成長は皆さん自身のためだけのものではなく、この地域のためでもあることを念頭に充実した2学期を過ごしていきましょうね！